

開会挨拶

齋藤十郎 GEA会長

平成 19 年 10 月 19 日 開会式

皇太子殿下・同妃殿下のご臨席を仰ぎ、また福田内閣総理大臣はじめ、国内外から多数の方々のご出席を得て、持続可能な未来を実現するための国際会議を開催できますことは、誠に光栄であり、主催者を代表して会議開催にご尽力を賜った関係各位に厚く感謝申し上げます。

はじめに、本日、特別講演をしていただくパチャウリ議長にIPCC がノーベル平和賞を受賞されましたことを心からお祝い申し上げます。同じくゴア氏も同時に受賞されましたが、丁度10年前、当時は現職の米国副大統領にもかかわらず、快くGEA 国際会議「地球環境パートナーシップ世界会議」においてやはり特別講演をしてくださいました。GEA 会長として感無量の思いが致します。

あらためて、ゴア氏、IPCC が地球温暖化問題について国際世論を喚起し続けてきたことに対して敬意を表したいと存じます。

21 世紀は環境の世紀といわれております。これは20 世紀後半になって驚異的な科学技術の進展に支えられ、人類が未曾有の繁栄を享受する一方で、その代償として、人類の生存基盤そのものを脅かす深刻な地球規模の環境問題を惹き起こしてしまったという反省に立った言葉であると私は理解しております。

即ち、前世紀の負の遺産といえる地球温暖化をはじめとするさまざまな地球環境問題について、今世紀中に人類の英知を結集して必ず解決しなくてはならないという強い決意と希望をこめた言葉であると、私は思っている次第です。

今回の国際会議では、持続可能な未来を実現するためにはどうしたらいいか、国内外から各界各層の第一線で活躍されている皆様に参加していただき、熱心に議論していただきます。会議の成果は来年の洞爺湖サミットの議論にもぜひ反映していただくことを総理にこの場をお借りしてお願いしておく次第です。今回の国際会議が実りある成果をもたらすことを心から祈念して主催者代表の挨拶とさせていただきます。